

総務教育常任委員会資料

(平成27年10月7日)

| 【項目】 | ページ |
|---|-----|
| 1 「中山間地域振興を考えるセミナー2015」の開催について 【とっとり暮らし支援課】・・・ | 1 |
| 2 「とっとり県民の日」に係る取組実績について 【参画協働課】・・・ | 2 |
| 3 「とっとりの元気づくり会議」の開催について 【参画協働課】・・・ | 3 |

元気づくり総本部

「中山間地域振興を考えるセミナー2015」の開催について

平成27年10月7日
とっとり暮らし支援課

中山間地域のリーダーとして活躍が期待される方や市町村担当職員等を対象に、地域活性化の先進的な取組事例等を学んでいただくとともに、中山間地域での暮らしを支える地域の活動など今後の各地域での実践活動の参考にしていただくため、「中山間地域振興を考えるセミナー2015」を開催します。

地方創生を推進していくため、本セミナーを契機に、県としても進めようとしている「小さな拠点」づくりについて、地域リーダーの方々に理解を深めていただき、各地域における拠点づくりや運営を行う人材育成につながるよう、取り組んでいくものです。

1 日 時

平成27年10月13日(火)

- (1) 現地研修：午前10時30分から午後1時まで(希望者：事前申込必要)
- (2) セミナー：午後1時30分から4時まで

2 場 所

- (1) 現地研修：鳥取市鹿野町内
- (2) セミナー：国民宿舎山紫苑(鳥取市鹿野町今市972-1)

3 テ ー マ

『中山間集落での暮らしを続けていくために。「小さな拠点」を考えてみよう』

4 内 容

- (1) 現地研修(希望者：事前申込必要)
「NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会」の取組
- (2) セミナー
 - 【講演1】「小さな拠点をつくろう」～中山間地域での暮らしを支える～
明治大学農学部 教授 小田切徳美 氏
 - 【講演2】「国における小さな拠点の推進」
内閣府地方創生推進室 参事官 須藤明夫 氏
 - 【講演3】「とっとり集落創造シート」～小さな拠点づくりのきっかけとして～
公立鳥取環境大学経営学部 准教授 倉持裕彌 氏
高知大学地域連携推進センター 地域コーディネーター 赤池慎吾 氏
 - 【事例発表】鳥取市気高町逢坂地区逢坂むらづくり協議会 会長 田中洋二 氏

5 参 加 者

集落支援員、地域おこし協力隊員、地域のリーダーとなり得る者、地域づくりに興味のある者、市町担当者、県担当者 約120名程度

「とっとり県民の日」に係る取組実績について

平成27年10月7日
参画協働課

県民が鳥取県について学び、ふるさと鳥取に愛着と誇りを持ち、県民の一体感を高めるよう、とっとり県民の日である9月12日(土)前後に、教育委員会・市町村・民間事業者等と連携して、次のとおり各種事業を実施しましたので、その結果を報告します。

なお、日本海新聞、NHKを始め、様々なメディアに「とっとり県民の日」に係る取組が取り上げられ、県民の方へ広く周知することができました。

1 学校における「とっとり県民の日」一斉取組

「とっとり県民の日」の前日を中心として、全ての小中高校・特別支援学校で児童・生徒が鳥取県及びとっとり県民の日等について学ぶ一斉取組を実施した。

<取組例>図書時間で県民の日クイズを実施(中ノ郷小学校)、県民歌「わきあがる力」の合唱(佐治小学校)
県出身の明治大学創立者等に関する講演会の開催(鳥取敬愛高等学校)

2 ふるさと「とっとり」講師派遣事業

児童・生徒等へ鳥取県の歴史や地域の魅力を伝え、ふるさとへの愛着心を高めるため、専門的な知識を有する講師を学校に派遣し、鳥取県の成り立ち等について授業を実施した。

八頭町立隼小学校 5、6年生(17人)、鳥取市立佐治小学校 5、6年生(21人)

3 学校給食で県民の日メニューの提供

県内の給食を提供する小学校、中学校、特別支援学校196校において、県民の日になみ、県の特産品や旬の県内産食材をふんだんに使用したメニューを提供した。

4 図書館等におけるパネル展示

- (1) 10カ所の学校図書館及び市町村立図書館において、鳥取県の成り立ち等を説明したパネルを展示した。
- (2) 県立公文書館において、資料展「鳥取県ができるまで」を実施した。
- (3) 県立図書館において、鳥取県再置に係るパネル、資料等を展示した。

5 イオンと連携した「県民の日記念イベント」

- (1) イオンモール鳥取北の店舗において、9月12日、13日の2日間で次の各種イベントを実施した。
※期間中のイオンモール鳥取北の来店者数は、約5万人。
 - ・県内業者による菓子(県内で生産される菓子又は、県産食材を使っている菓子)の販売
 - ・県民の日をPRする館内アナウンス
 - ・とりアートとの連携による県内活動者の演奏等
 - ・鳥取県の歴史、観光名所等のパネル展示
 - ・啓発物品の配布
- (2) イオンモール日吉津の店舗において、9月12日に次の啓発イベントを実施した。
 - ・鳥取県の歴史、観光名所等のパネル展示
 - ・県民の日をPRする館内アナウンス
 - ・啓発物品の配布

6 各種媒体による広報展開

- (1) 7市町の広報誌、ホームページに記事を掲載した。
- (2) 県の広報媒体を活用したPRを実施した。
 - ・県政だより [9月1日]、新聞広告 [9月12日]、電光掲示板 [8月1日～9月12日]
 - ・テレビスポット54本 [9月1日～12日]、ラジオスポット20本 [9月1日～12日]

7 県立施設等の無料開放[9月12日～13日]

| 区分 | 県立 | 市町村立 | 計 |
|--------|----|------|----|
| 無料開放施設 | 12 | 14 | 26 |
| 料金割引施設 | 1 | 1 | 2 |

※無料開放期間、料金割引期間は施設によって異なる。

「とっどりの元気づくり会議」の開催について

平成27年10月7日
参画協働課

県内の活動団体の活性化並びに県及び公益財団法人とっとり県民活動活性化センター（以下「活性化センター」という。）による支援策の検討に活かし、今後のとっどりの元気づくりにつなげることを目的に、活性化センターと共催で「とっどりの元気づくり中部会議」を開催しましたので、その結果を報告します。

今後、東部会議、西部会議及び全体会議を開催する予定です。

1 とっどりの元気づくり中部会議の開催結果

(1) 日 時 平成27年10月3日（土）午後4時20分から5時50分まで

(2) 場 所 ホテルセントパレス倉吉

(3) 参加者 特定非営利活動法人、地域づくり団体他 計54名

(4) 会議の内容

○ワークショップ

テーマ「みんなで とっどりの元気づくりを 考えよう！」

- ・参加者がグループに分かれて、団体の強みや課題を共有した。また、団体同士の連携や活性化センターの支援等を活用した解決策について議論し、全体で共有した。
- ・団体の課題として、資金や人材の不足を挙げる団体が多かった。

○活動団体によるPR及び決意発表

- ・中部地域の2団体（鳥取中部かわせみネイチャーゲームの会、いきいき直売よどや運営会）から、団体のPRや決意発表と併せて、活性化センターに対し「地域と一緒に頑張って、地域を盛り上げていきましょう」との期待の声が出た。

○「とっどりの元気づくり会議」立上げ提案

- ・活動団体同士がノウハウ等を共有、意見交換する交流の組織である「とっどりの元気づくり会議」の立上げを活性化センターが提案し、参加者から賛同を得た。

(5) 活動団体から出された主な意見

- ・団体同士の交流は重要であり、有意義な会だった。
- ・今回の会議はきっかけであり、継続していくことが重要である。
- ・他の活動団体の活動内容を知るとともに、課題共有や解決策の検討を一緒にできて、今後の活動の参考になった。



(ワークショップ中の意見交換の様子)



(ワークショップ中の名刺交換の様子)

2 東・西部会議及び全体会議の開催（予定）

(1) 東・西部会議

ア 日 時 東部 平成27年10月 7日（水）午後6時30分から8時まで

西部 平成27年10月14日（水）午後6時30分から8時まで

イ 会 場 東部 鳥取ワシントンホテルプラザ

西部 米子ワシントンホテルプラザ

ウ 出席者 特定非営利活動法人、地域づくり団体他 東・西部それぞれ約50～60名

※内容は、中部会議と同様

(2) 全体会議

ア 日 時 平成27年11月中を予定

イ 内 容 「とっどりの元気づくり会議」の立上げ宣言、東・中・西部会議の総括及び今後の展望について等

